

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定に係る事業)

平成31年1月21日

協議会名:余市町地域公共交通活性化協議会

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③地域公共交通網形成計画等の計画策定に向けた方針
<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・余市町の公共交通に関する現況調査 ・公共交通アンケート調査 ・バス乗降調査及び利用者アンケート調査 ・タクシー利用実態調査 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現況調査から幹線バス、地域内路線バス及びスクールバスの重複運行の状況を把握し、バス路線の見直しの必要性を明確化しました。 ・アンケート調査から公共交通空白地域において公共交通の需要があることを把握し、郊外部における公共交通の必要性を明確化しました。 ・余市協会病院線の乗降調査から区間ごとの需要を明らかにし、バス路線の見直しの必要性について明確化しました。 ・タクシー利用実態調査によりバス輸送との競合状況を明らかにした上で、町内公共交通の構築にあたっては、町内バス路線の拡充とタクシーの活用の必要性について明確化しました。 ・以上の方向性により今後の協議会での検討を経て、地域公共交通網形成計画として最終的にとりまとめます。 	<p>A</p> <p>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された</p>	<p>余市協会病院線は、主に高齢者の通院・買物目的の生活交通を確保する上で重要なバス路線であるため、今後とも運行を維持する必要があるものの、運行開始から20年程度経過しているため、住民のニーズに合った運行内容へと見直すことで、輸送効率を向上させていきます。</p> <p>輸送効率を向上する方法としては、高齢ドライバーを中心に自動車運転免許返納を促進していくとともに、通院目的と併せ、余市駅東側の地区の買物目的や公共施設へのアクセスに配慮します。新たな運行収益が期待される黒川町まほろば地区等へのアクセスなど通勤・通学利用に対応していくことや、公共交通空白地域となっている郊外において新たな公共交通を確保し、これと連携・接続を図ります。</p> <p>余市協会病院線の運行方法は、利用が少ない停留所区間等において運行ルートの見直しをすることで、輸送効率を向上していきます。</p> <p>また余市町のまちづくりに配慮して、余市駅周辺のバス停留所の集約配置や、時間帯によって輸送サービスを変えることなどについても検討します。</p> <p>なお郊外公共交通は、高齢者の買物・通院目的のためにコミュニティバス、乗合タクシーといった従来の運行方法に加え、定額タクシーの運行についても地域の意向を把握しながら選択します。その他観光目的やレクリエーション目的の送迎方法についても併せて設定します。</p>